

読解力育成に向けた授業実践

◇読解力育成に向けた全教科共通の具体的な実践

- ① 根拠を示して(教科書から抜き出して)、集団や相手に向けて発表する活動の実践
- ② 各教科の特性に応じて、反復練習を実施

国語	R3実践	【全学年】速読の練習をする。(推論) 【1年】短文の内容把握の練習を取り入れる。(推論) 【2年】対話的な話し合い活動を多く取り入れる。(同義文判定・具体例同定)
	振り返り	コロナ禍の影響により対話的な話し合いは取り組みにくかった。可能な範囲でペアなど形式を変えて行った。 また、速読は随時、取り組んだ結果、効果が見られた。
	R4実践	グラフ・表を交えた文章問題の反復練習を取り入れる。また、テーマを決めて、ペアで説明し合う。(時間制限あり) ※発達段階に応じて、キーワードを適宜設定する。
社会	R3実践	【全学年】・「チェック(教科書から必要事項を抜き出す)」「トライ(キーワードを使い、思考・表現を問う)」に取り組み、発表させる。(推論・具体例同定) ・「グラフ」「読み物資料」を使い、グラフの特徴や考えなどをまとめさせる。(イメージ同定) ・学年の発達段階に応じて、読解力のスキルを伸ばすよう、トレーニングを重ねる。 ・語句を用語辞典で調べさせ、簡潔にまとめさせる。(具体例同定)
	振り返り	・「チェック」「トライ」については、個人やペアで取り組みせ、発表させることで共有化を図った。Chromebookを使って、記述した内容を共有する。 ・グラフの読み取りや語句の説明をペア学習形式で行い、お互いに説明しあう活動をさせた後、学級全体で共有化を行った。R4も継続して行う。
	R4実践	【全学年】・「チェック(教科書から必要事項を抜き出す)」「トライ(キーワードを使い、思考・表現を問う)」に取り組み、発表させる。(推論・具体例同定) ・「グラフ」「読み物資料」を使い、グラフの特徴や考えなどをまとめさせる。(イメージ同定) ・学年の発達段階に応じて、読解力のスキルを伸ばすよう、トレーニングを重ねる。
数学	R3実践	【全学年】・「～だから…である」などの根拠を明確にし、言葉・式・文章で表現させる。(推論・イメージ同定) ・チェックをこまめに行い、小テストの回数を増やす。(同義文判定・具体例同定)
	振り返り	【1年】表やグラフから情報を読み取ることは一定の成果があった。作図や計算はできるが、考え方や解き方を説明することに課題が見られた。 【2年】図形の定義や性質をしっかりと捉え、根拠をはっきりとさせながら、証明をしたり、角度や長さを求めたりする問題に取り組んだ。 【3年】図形に関する証明問題に多数取り組んだが、その根拠をはっきり説明させるところまではいかなかった。
	R4実践	【全学年】・式、表、グラフに関する課題を出題し、説明できるかをチェックする。 ・数学的に説明する問題を設定し、解答率(正解率)をチェックする。

理科	R3実践	【全学年】”学びを生かして考えよう”という教科書の課題を用いて根拠を示して説明する活動を2週に1回程度のペースで実施する。(推論)
	振り返り	【1年】2週に1回のペースでの実施はできなかったが、根拠を明確にして説明する課題に数回取り組んだ。 【2年】教科書の課題を活用することはできなかったが、学習内容をもとにした課題を設定し、根拠をもとに説明する活動を3回程度実施した。 【3年】2週に1回のペースでは実施できなかったが、「学びを生かして考えよう」の課題を用いて、根拠を示して説明する活動を行った。
	R4実践	【全学年】本時のめあてと「単元や前時の授業との関わり」(根拠)を明確にする。その上で、めあてに対する予想を全員が書くこと、実験方法を考えさせること、考察を全員が書くことを徹底する。 (【レベル①】まずは個人で書く、【レベル②】根拠を明確にして書く、【レベル③】意見交流(班or学級)を行い、自分の考えを再構築する)
音楽	R3実践	【全学年】・リズムアンサンブル・創作:自分の役割をしっかりと感じ取り、班で教え合い、発表させる。(同義文判定) ・鑑賞:作曲者について知り、曲から聴きとったことの感想をまとめ、発表させる。(イメージ同定) ・表現、歌唱:自分のパートに責任をもち、リーダーを中心にいいものを創り上げる意識を高め、意見を伝えあう雰囲気を作り発表させる。(同義文判定)
	振り返り	【1年】1学期は曲想を感受し、そのように感じ取った理由を、音楽の構造と関わらせて鑑賞する活動を行った。 【2年】2学期は、作曲者が音楽の諸記号に込めた思いを、作品ができた背景と関わらせながら考える学習をした。 【3年】3学期は題材の作曲者に関するレポート作成の課題に取り組み、そのレポートをもとに発表をし、曲の背景を深める学習をした。
	R4実践	【全学年】・鑑賞活動において、「なぜ、自分はそう感じるのか」音楽の要素に照らし合わせながら自分の考えを記述する時間を設ける。(イメージ同定) ・表現活動において、「どのように表現したいか」を具体的な言葉で表現できるよう、教師と生徒の対話に重きを置く。(イメージ同定)
美術	R3実践	【全学年】・鑑賞活動では、自分の作品について説明する時間を設定する。(同義文判定) ・何を感じたのか、どこで感じたのか根拠を明確にして話し合わせる。(推論)
	振り返り	作品制作の時間がメインだったので、鑑賞活動を行う。
	R4実践	【全学年】・鑑賞活動では、自分の作品について説明する時間を設定する。(同義文判定) ・何を感じたのか、どこで感じたのか根拠を明確にして話し合わせる。(推論)

技術・家庭	R3実践	【全学年】振り返りを記入させる際に、キーワードを提示し、そのキーワードを含む文章を書かせる。または、文章の型を提示する。（同義文判定・推論）
	振り返り	【全学年】授業の終わり5分間で振り返りを行った。Chromebookだけでなく、紙でも行っている。1年生は特に、文章の型をレベルに分けて書くように指示している。
	R4実践	【全学年】振り返りを記入させる際に、キーワードを提示し、Chromebookを使ってそのキーワードを含む文章を書かせる。または、文章の型を提示する。（同義文判定・推論）
保健体育	R3実践	【全学年】・授業のねらいに沿ったポイントを教師の言葉や教科書から見つけ、学習カードに書き出す。（推論・イメージ同定・具体例同定） ・課題解決に向けた話し合いの場面を設け、支持的風土の醸成を図る。（具体例同定）
	振り返り	【全学年】・活動時間確保を優先し、じっくりを書き出す時間を作ることができなかった。 ・Chromebookを用いて、動画視聴により、技能のしくみの説明を聞き取る活動を行った。 ・試合後のミーティングを行ったが、リーダーのみの考えに偏った傾向にある。班員全員が発表する場面が必要である。
	R4実践	【全学年】・できるかできないかにとらわれず、教科書(実技)を引用して、「技能のしくみ」を理解し、アドバイスの場面を作り、発表をさせる。 ・練習やゲームにおいての指示の声を重視する(コロナ禍だが、熱中症防止のためマスクを外している場面を考慮しながら)。 ・技能習得時に、ポイントを言語化して、つぶやきながら練習するアドバイスをする。(例:シュート後「手首を返す」と言いながらなど。)
英語	R3実践	【全学年】・帯活動で弾丸インプットやスモールトークを繰り返し行うことで、語彙力の定着を図り、スペリングコンテストで確認する。（同義文判定・推論） ・音読で意味の区切りやリズムを身に付けさせ、学期末に音読テストを実施して確認する。（イメージ同定・具体例同定）
	振り返り	・帯活動におけるインプット(語彙力の定着)や教科書の音読練習により、読むことは大体できているが(県学力において、県・市の平均より上)、内容を正しく読み取り、自分の考えを根拠を示して表現することができていない。特に書く力が弱い。全体的に、アウトプットできる力を育成する必要がある。
	R4実践	【全学年】・引き続き、弾丸インプットやスモールトーク、スペリングコンテストなどを通して、語彙力の育成と充実を図る。（同義文判定・推論） ・身につけた語彙力を活用し、「ねらいに即した『書く活動』」を計画的に取り入れる。（推論・イメージ同定）